

地域医療支援病院 登録医のご紹介



天野内科医院
 天野 昌彦先生
 TEL: 0795-24-1717
 住所: 西脇市上野315
 診療科目: 内科, 消化器科, 呼吸器科



診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00 ~ 12:00	●	●	●	●	●	●
午後 3:30 ~ 6:30	●	●	●		●	

① 診療を開始されてどれくらいになりますか。

平成9年10月1日開業
 昭和56年4月～平成9年9月まで西脇病院内科勤務

② どのような患者さんが来院されますか。

年齢は5才～100才(75才以上が約300名)生活習慣病(DM、高血圧、高脂血症)消化器疾患(特に上部消化管)肝疾患が多いです。他は急性期の疾患が毎月数名受診されます。

③ 診療にあたり心掛けていることは何ですか。

迅速かつ適確な診断と早く治してあげること。患者との信頼関係を早く築くこと。自分の専門外は他院(西脇病院をはじめとして適切な病院を紹介)を受診させています。

【ひとこと】

待合室は、癒しの空間作り(音楽、四季に似合う絵画、フラワー等)に努力しています。『初心忘るべからず』で開院当初の気持ちで約20年間診療してきました。体力と気力が続く限り、前向きに仕事に取り組んでいく所存です。これからも地域医療に貢献したく思いますので、御指導・御鞭撻ください。



広野整形外科
 広野 正邦先生
 TEL: 0795-22-0225
 住所: 西脇市野村町770-2
 診療科目: 整形外科, リウマチ科, 外科,
 リハビリテーション科



診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00 ~ 12:30	●	●	●	●	●	●
午後 3:30 ~ 7:00	●	●	●	●	●	●
土曜日午後 2:00 ~ 5:00						

① 診療を開始されてどれくらいになりますか。

平成19年4月1日より10年間

② どのような患者さんが来院されますか。

乳幼児、学童、中高生、大学生(兵教大中心)から高齢者に至るまで、ほぼ全年齢層が来院されます。特に午前診は、高齢層が中心で午後診は若年層から中年層が中心に来院されます。慢性疾患や外傷に至るまで整形外科全般の疾患が来院されています。

③ 診療にあたり心掛けていることは何ですか。

一人一人の患者さんが、来院してよかったと満足していただけるような診察を旨としています。また、整形外科領域のみにとらわれず、なるべく全身の状態を把握するような医療を目標としています。

【ひとこと】

CTやMRIなどの検査や手術加療を要する場合に、西脇病院には大変お世話になっております。今後も西脇病院とは病診連携を充実させていきたいと考えております。

地域医療連携室だより
 2017年9月発行

〒677-0043 西脇市立西脇病院
 兵庫県西脇市下戸田652番地の1
 TEL: 0795-22-0111(代表)

地域医療連携室 直通
 TEL: 0795-22-8270
 FAX: 0795-23-4580

西脇市立西脇病院 Nishiwaki Municipal hospital

地域医療連携室だより



HP: <http://www.nshp.jp/>

平成29年8月にアンギオ装置が更新されました。



理念

『地域に信頼される良質な医療の提供』

基本方針

1. 私たちは、患者様の意思を尊重し、自己決定を支援します
2. 私たちは、患者様の安全・安楽を護るために事故防止に努めます
3. 私たちは、専門職として、質の高い看護を提供するために学び続けます
4. 私たちは、患者様を中心としたチーム医療を実践し、地域と連携します

西脇市立西脇病院
脳神経外科部長 片山 重則

この度、西脇病院の血管撮影装置が更新されました。従来の機種とは異なり、バイプレーン方式になりました。これは、前後像および側面像を同時に透視で確認できるものです。これにより手技時間が短縮し安全な治療が可能になります。

当院におきましては以前より急性期の脳血管内治療にいち早く取り組んできたところでございます。近年、脳梗塞に対する血管内治療の有効性が示され、今後、脳梗塞急性期治療に対する脳血管内治療の重要性は増すばかりです。今回の機器更新により、より安全で精度の高い脳血管内治療が可能になるものと確信しております。

急性期疾患はもとより、それ以外の脳血管病変に関しましても、引き続きご紹介いただきますようお願い申し上げます。

アンギオ装置とは

放射線科
技師長補佐 藤原 健一

新しくなったAngio装置（PhilipsAlluraClarity F D 20/15）についてご紹介します。

今回の装置は最新の画像処理技術を採用することで、大幅な被ばく線量の低減と手技の質の向上が図られており、患者様・スタッフ両方にとってより安全な検査が行えるようになりました。

近年、手術が観血的手技から低侵襲法へとシフトしており、Angio装置にはこれまでになく広範な手技に対応できることが求められています。今回インターベンション支援ツールとして、脳動脈瘤血流の術中解析を行うソフトウェア（AneurysmFlow）・術前術後の脳血流評価を行うファンクショナルイメージングツール（2D Perfusion）・血管造影室内でのコーンビームCT撮影と、それから得られた3Dライブ画像による穿刺ガイド（XperGuide）やカテーテルナビゲーション（Dynamic 3Dロードマップ）など、多彩なアプリケーションが使用可能となり、精度の高い様々な治療へ対応できることを期待しています。



平成29年度大規模地震時医療活動訓練に伴う院内災害訓練を実施しました。

平成29年7月29日に南海トラフ地震を想定した内閣府の医療活動訓練が近畿圏を中心に実施され、西脇病院は北播磨圏域の災害拠点病院として訓練に参加し、災害時における初動体制の再確認を行いました。

西脇市では震度5強を観測したとの想定で、三木総合防災公園で展開された広域搬送拠点臨時医療施設（SCU）へのDMAT派遣を行う一方、院内においては、地震発生直後の緊急連絡により約100名の職員が参集し、院内災害対策本部の設置、入院患者の安否確認、ライフラインの確認、多数傷病者受入れによるトリアージ、衛星電話を用いた県立加古川医療センター等との連携確認などを実施しました。

